



ふれあい

2011年10月
現在の会員数
男性 1,421名
女性 562名
合計 1,983名

No.131
2011年/11月

題字 府中市長 野口忠直 書

公益社団法人府中市シルバー人材センター発行/府中市寿町3-2 ふれあい会館2F/TEL042-366-2322



■フォーリスでシルバーフェアを開催■

10月20日(木)21日(金)の両日、けやき並木のフォーリス1階広場で「府中市シルバー人材センターフェア」を開催しました。昨年を上回る人気で、大勢の市民が訪れ、各ブースとも終日賑わいました。(写真は会場を訪れた野口府中市長)

目次

- 野口市長との懇談会を開催 2
- 商工まつりに参加..... 3
- 会員対象無料パソコン講習 3
- 職場訪問(書道教室・学習教室) ... 4
- 各地域ボランティア活動 5

- 各種委員会委員の紹介 6
- パソコン職群自主研修会 6
- 在会年数別会員研修のお知らせ ... 7
- 安全パレード・シルバー川柳他 ... 7
- センター活動の写真 8

公益社団法人運営への支援を要望 野口市長とセンター役員との懇談会を開催

厳しい暑さが続き、東日本大震災による節電中の8月17日(水)、恒例となっている野口府中市長とセンター役員との懇談会が、第5回理事会終了後、市長、福祉保健部長、センター役員15名出席のもと、ふれあい会館6階第1会議室で開催されました。



市長は所用により遅れるとのこと
で、午後4時から鎌田福祉保健部長とセンター役員間で、市の福祉保健行政について懇談を行いました。
午後4時20分、市長がお見えになり、渋谷常務理事の開会により、センター役員の自己紹介を行いました。
市長からは、「懇談会へのお招き有難うございます。公益社団法人化に向けて、役員一丸となつての取組に心から敬意を表します。センターの地域への社会奉仕活動が課題となりますが、その推進に大きな期待を抱いています。そして、今後のセンターのさらなる発展をお祈りします。」と温かいごあいさつをいただきました。
本間会長から市長に対しては、「日頃より名誉会長として、セン

ターの運営にご理解、ご協力をいただき感謝を申し上げます。なでしこジャパンの諦めないチームワークを見習い、センター運営の舵取りに専念したい。」
とあいさつをした後、次のような要望を行いました。

①7月の業績が昨年同月と比較し大幅に下回っているため、市の業務を引き続きセンターへ発注を。

②運営資金繰りが厳しいので、市からの補助金及び一時借入金を取り扱いはについてのご配慮を。

③「ワークブランチ」移転先の土地建物の借用についてのご配慮を。
引き続き、三常任委員会委員長から市長に対して要望事項を発言しました。

◎棟方総務委員長
①会員の増強並びに研修の場として市施設の使用にご配慮を。
②女性会員の増強、就業機会拡大のため、就業可能な市業務の見直しを。

③社会奉仕活動として、市と共同でできる活動の情報提供と参加の呼びかけ。
④市民との交流事業を促進するため、府中文化振興財団や市民文化団体との協力を。

◎小林業務委員長

①短時間の支援事業をする、「お助け隊」のサービスを目指しているのでご理解とご協力を。
②新規の自転車管理、緊急雇用対策事業及び市の事業を引き続いて発注を。

◎三坂広報委員長
①市が実施している市内60か所の放射線測定結果を、会員の屋外作業に当たり注視。
②新規のセンター事業展開に際して、市広報への掲載を。

以上の要望に対して、市長からできる限りの支援に努めたいとの心強いお答えをいただき、和やかに進んだ意義ある懇談会は、午後5時10分に閉会しました。

●第51回府中市商工まつり 各職群がPRを実施

平成23年8月5日(金)～7日(日)

の3日間、午前10時～午後6時まで大国魂神社境内で第51回府中市商工まつりが、多数の市民の方が集い盛大に開催され、当センターも例年どおり参加しました。

5日午前10時、花火打ち上げ、市長ほかによるテープカット、商工まつり実行委員長によるくす玉割りと共に商工まつりは華々しくスタートしました。

「府中の元気が日本の元気に」を合



言葉に関係者と一般市民が協力し合って盛り上げた今回の商工まつりは、例年にも増して充実した一大イベントでした。

当センターは会場入り口左側のテントで、入会相談、センターPR、スーパードールすくい、を3日間通して、総務、業務、広報委員会が担当して実施、多くの来客を得ることができました。

また喫・障子、着物出張着付、刃物研ぎ、ふとん乾燥、パソコン教室、書道教室の各グループがそれぞれ1日ずつPR活動を実施、それぞれに相応の手ごたえを得ていたようです。

さらに小物販売はすぐ隣のテントで2日間実施しました。

また、センター会員が作った「じゃがいも」の販売が行われ好評を博しました。

連日うるだる猛暑の中、また初めての職群参加の祭りでありましたが、極めてスムーズな運営が実現でき、商工まつりの一端を飾ることができました。

会員対象のパソコン講習 無料で20人に3日間実施

10月3日6日7日の3日間、グリー

ンプラザの地下1階のパソコン教室(ダブルクリック)で、センター会員対象のパソコン講習が行われました。20人募集しましたが約2倍近い応募があり抽選で受講者を決め、10人づつ2組に分けて講習を実施しました。

田中理事の司会で、西隈副会長の趣旨説明とパソコン職群リーダーの飯田さんから講習内容と使用するテキストの概要を紹介しました。

「3日間でインターネット・メールが



できることを目標に、文字の入力、センターのホームページを閲覧する、そして仲間内でメールの送受信ができるように、実際にパソコンを操作して講習をしました。

二日目には本間会長もあいさつにお見えになり、講習にも熱が入り、メイン講師のほかに、アシスタントの講師を4人配置し、受講者が楽しく、わかりやすいように工夫し、3日間和やかな雰囲気講習を終えることができました。

今回の講習は、パソコン職群の会員のボランティアで行われ、テキストも手作りで無料、受講した会員も無料で講習が受けられるという異例の催しでした。

受講者の感想は、「非常に良かった。受講者指導を受けた。面白かった。もう少し使えるようになりたい。80歳でもついて行きました。IT時代に入門したような視野が広がりました。もっと進みたい。パソコンに親しむチャンスとなった。デジカメにも挑戦したい。パソコンを購入します。」など喜びに溢れていて、講師の会員さんも「苦勞が報われました」と喜んでいました。



学習教室と書道教室訪問

ゲーム感覚の学習も 小4の国語教室見学

現在、学習教室は、小学4～6年生と中学1・2年生を対象に、ふれあい会館と白糸台文化センターの二か所で開催しています。教師は教員免許を持つている11名の会員が分担して受け持っています。小学生は、国語と算数で月8日で月謝は六千円、中学生は英語と数学で一科目の月謝は月4日で二千五百円です。

ふれあい会館の小学4年生の国語の教室をのぞいてみました。

今日の先生は林先生。生徒は7人で



男の子が5人に女の子が2人でした。「秋深し」という題のページを勉強します。教科書はカラーで絵入りのきれいな本です。

男の子を指名して読ませましたが、秋深しを「あきさがし」と読んだのでボードに文字を書いて説明しました。次に「秋に実るもの」を生徒に挙手で答えさせ、黒板に書いていきます。柿、大根、クリ、松茸、タケノコまできて先生は「タケノコは春とって秋にも食べられるもの」と教えます。

先生は根気よく次々に指名して発言させ、間違いを直していきます。

教科書の「稲刈れば小草に秋の陽のあたる(蕪村)」の句から「稲穂」「もみ」そして「紅葉」まで話を広げていきます。そして最後は秋の言葉のビンゴゲームです。縦横3列9マスの用紙を配り、各マスに秋のものを漢字を必ず一つは入れて書かせます。出来上がったら一人ずつ発表させ、同じ語句があったら赤丸で囲みます。赤丸が縦横斜めに並んだらビンゴです。次々に「ビンゴ!」の声が上がりました。

子供たちに林先生について尋ねると皆が声を揃えて「優しい先生」とこたえました。先生は「集中させることが難しい。厳しくすると落ち込んでしまう。褒めて楽しく授業をすることに徹しているが難しい。」と話していました。

中国の千字文をお手本に 女性に大人気の書道教室

府中駅北口のグリーンプラザ地下1階の教室を訪問しました。ここは普段はパソコン教室ですが、毎週火・水曜の午前と午後、水曜夜間、書道教室「書彩」を開いています。生徒さんは女性12名で教室は満席です。銘々それぞれ墨汁、筆、半紙、文鎮など必要な道具は持参です。

今日の先生は佐藤先生と宮崎先生。お手本は中国の隋智永書の「関中本千字文」にある4字書体「攝職従政」(職を撰(と)りて政(まつ)り)ことに従うで



す。手もとのお手本を見ながら10枚位書きます。さすが皆さん筆をキチンとたて、背すじを伸ばして姿勢よく書いています。半紙一杯に四文字をのびのびと書きます。気に入ったのが書けたら、先生の机を持って行って添削してもらいながら皆さん自分でどんどん行動していきます。

先生は「ここはもう少しはねを力強く、ここは狭いからもう少し広げて」など、言葉で教えながら朱筆で直していきます。

生徒さんに書道を始めたきっかけをお聞きすると、父親の介護中だが気分転換の2時間でまた介護に専念できる。素晴らしい先生だからこれからはずっと書き続けたい。子供のころから習いたかった。リーズナブルな料金で助かる。などの声が聴かれました。



新町地区でも東八道路沿いの 清掃ボランティアを開始

地域懇談会開催後から目標にしてい
ましたボランティア活動について、新町
地域班長会議を開催し、3名の班長
の方に実行委員に加わっていただき、
実施に向けて打合せをしました。

まず、ボランティア清掃活動場所(東
八道路、いちよう通り、学園通りの各
歩道のゴミ拾い)等を選択し、市役所
に申請をしました。担当班長の了承
を得て新町地域会員メールボックスを
利用し、ボランティア活動のお知らせ
をしました。

実施日10月13日(木)午前8時から



活動をスタート、お陰様で参加者が多
数(26名)となりました。会員の方は自
主的に行動をして頂き、それぞれの役
割を果たしていただききました。また、
清掃後のゴミ処理はすべて市役所で一
括処分をしていただきました。

当日は新町地域担当の小林理事と
地域委員長の芝原理事が参加され、
また、途中から渋谷事務局長と事
務局も参加していただき、事務局長か
ら激励のあいさつがあり、ボランティア
活動に対するムードが高まりました。

無事にボランティア活動を実施終了
できほつといたしました。これも役割分
担等事前の打合せの成果であると思ひ
ます。次回ボランティア活動は今回
の実施を参考にしていきたいと思います。

(新町地域委員 出口 明)

中央地区でもけやき並木 清掃ボランティアを実施

9月9日に中央地区の会員がけ
やき並木通りのボランティア清掃
を行いました。このボランティア
も定着したようで、喜ばしいこと
です。



センター事業のけやき並木 清掃ボランティアを実施

10月21日、センターとして毎
年行っているけやき並木のボラ
ンティア清掃を行いました。
朝8時にみずほ銀行前に集ま
った会員は総勢70名、皆さん熱
心に奉仕活動に専念しました。



今までの部会に変わって 委員会が活躍しています

公益法人改革に伴い、23年度から当センターでは専門部会にかわる「委員会制度」が新たなスタートを切っております。本号では各委員会で現在ご活躍中の委員の皆様方をご紹介させて頂きま

◎広報委員会(6名)

委員長 三坂 益路(天神町)
副委員長 田中 和美(本宿町)

◎地域委員会(15名)

委員長 芝辻日出子(本町)
副委員長 小倉美美子(四谷)

◎安全委員会(10名)

委員長 澤村 一男(若松町)
副委員長 和田 道夫(分梅町)

◎総務委員会(7名)

委員長 棟方 鷹揚(宮西町)
副委員長 丸山 俊輔(四谷)

◎業務委員会(7名)

委員長 小林 敏彦(新町)
副委員長 芝原 央充(浅間町)

◎女性委員会(10名)

委員長 竹内 初子(是政)
副委員長 田中 和美(本宿町)

◎広報編集チーム(8名)

リーダー 飯田 (東芝町)

澤村 一男(若松町)
竹内 初子(是政)
高木 政邦(浅間町)
竹内 鐵雄(晴見町)
近藤 敦(新町)

西隈 邦彦(美好町)
丸山 俊輔(四谷)
小場いさ子(朝日町)
稲葉 邦江(寿町)
谷川 和子(西府町)
竹田 祥江(片町)

三坂 益路(天神町)
田中 和美(本宿町)
芝辻 克己(矢崎町)
徳田 豊彦(美好町)
吉田和二郎(浅間町)
川崎 盛久(栄町)
萬代 慶昭(四谷)

パソコン職群のスキルアップ 勉強会を開催しました

パソコン職群会員約30人出席した自主研修会を8月25日、グリーンプラザのパソコン教室で開催しました。

今回の研修会は教え方のスキルアップを目的としました。初めに飯田リーダーが講師のレベル向上を図るため研修会を続けていきたい旨のあいさつのち、吉田委員の豊富な教員経験から、講師に必要な要素①親切・よくわかる心がまえ②パソコン知識・操作内容などの商品知識③信頼されるあいさつ・身だしなみのマナー、話し方④理解を助ける資料の事前準備・熱意⑤わかりやすい言葉⑥具体的な表現の説明に皆が聞き入っていました。

次に江川会員は文書の作成について、全て文章を入力するだけでなくWord2007の持っている機能を使った挨拶文の挿入、オートフォーマットの使った文書作成などを説明されました。

実習終了後、時間の配分、用語の使い方、話し方などの内容のある活発な質疑・応答があり、この内容は発表者だけでなく出席者全員が参考になったことと思います。

決められた時間内に起承転結のストーリーを組み立てる難しさは実際に経験しないとわからないため、会員のスキルアップの研修を続けていくことは大事なことと思われました。

次に会員2人が講座テキスト(初心者のためのWord2007)を使い講習を行いました。

初めの松尾会員は文字入力を、入力方法のみでなくマウスの動き・使い方から全体を分かりやすく説明されました。



在会年数別会員研修を実施 11月21日から6回に分けて

本年度から入会5年ごとに全会
員を対象として、会員としてふさ
わしい資質の向上と、連帯意識の
高揚を図ることを目的として、平
成23年度会員研修を実施しました。
今回は、在会年数5年、10
年、15年の方々を対象として11
月21日から12
月5日間での間、6回に分けて200
名の会員が受講していただきました。
病気などの都合で欠席された
方につきましては、来年度必ず受
講してさせていただきます。

引き続き、来年1月19日には、在
かい16年以上の会員を対象とし
て研修を実施します。

対象の会員には、個別に通知い
たしますので、必ず受講してくだ
さい。

交通安全パレードに 47名の会員が参加

9月10日、けやき並木で開催さ
れた交通安全パレードに、センタ
ーから47名の会員が参加し、交通
安全を願って行進しました。



- 自転車安全利用五則**
- 1 自転車は、車道が原則、歩道は例外
 - 2 車道は左側を通行
 - 3 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
 - 4 安全ルールを守る
 - 5 子供はヘルメット着用

保育所と福祉センターの子供に ジャガイモ堀を体験

社会貢献事業の一環とし当センタ
ーで栽培しているジャガイモ畑でジャ
ガイモ堀体験をしていただきました。
7月14日、南町6丁目公共用地で、
住吉保育所と心身障害者福祉セン
ターの子供たち27名。
7月25日、四谷4丁目の畑で、四
谷保育所と子供たち15名。



★シルバー川柳★

原発を世界遺産と申請す
年金を貯めて故郷に義援金
ものふやなでしほかりがなせもてる

片町 岡 莞弥

頭髮の 隙間にしみ込む 秋時雨
彼岸花 そろそろおいでと 呼んでいる
ついてけない、言いつつ スマホ 買う私

浅間町 吉田和二郎

八十路 過ぎてても スマホが気にかかり
調子よく 挨拶したけど 名前出さず

東芝町 飯田 博

編集後記

本号の表紙を飾る「シルバー
人材センターフェア」も今年で
4回目、センターの広報活動
月間に相応しい一大イベント行
事として定着しつつあります。

センター念願のボランティア
活動も地域委員を中心に一般
市民の域に一歩踏み込んだ展
開記事が記載されており、ま
た会員向けボランティア活動の
パソコン講習も終始好評を得た
模様。

新企画「会員さんの職場訪問
記」の第2弾が記載されてお
り、次号以降も継続が期待さ
れます。(広報委員会 三坂)



府中市シルバー人材センターフェア 2011/10/20・21

